

### (3) 化学教育協議会

この協議会は本会と日本化学会北海道支部および日本化学会化学教育協議会北海道支部との共催で毎年夏から秋にかけての適当な時期に北海道大学を会場として開催される。

この会は日本化学会教育会員が参加して小・中・高・高専・大学における化学（科学）教育実践、工夫の報告や問題提起等を行い、初等・中等教育と高等教育の相互理解と連携を深めることを目的とした研究会である。小・中・高・高専・大学の教員からそれぞれ1件の研究発表の後に発表者をパネラーとしたパネルディスカッションを行い、学生の理科離れ、化学離れが危惧されている昨今、子供達に化学に対する興味をもたせるにはどのような教育を展開していけば良いのか、またそれらの連携や接続をはかるにはどのような取り組みが必要かなどを真剣に話し合う。また特別講演では文科省の役人を招いての講演や地球環境問題など社会の関心が高いトピクスをその道の専門家にお話いただく。

この協議会は、日本化学会北海道支部化学教育研究協議会議長と北海道立理科教育センターの化学担当教員を中心に企画・運営され、分析化学会から選出された委員はそのお手伝いをする事になっている。後援団体としては、北海道高等学校理科研究会、北海道中学校理科研究会、北海道小学校理科研究会がある。日本化学会主導で行われる行事と思われる方が多いと考えられるが、協議会の議長（日本化学会北海道支部選出）を5代前までさかのぼって列挙すると、吉田仁志、多賀光彦、那須淑子、筆者、中村博の各教授となり、分析化学会北海道支部の支部長を経験した教授が継続して担当してきている。

筆者は約15年前に本会選出の委員として参加したが、直後に多賀、那須両先生からの推薦で日本化学会委員長（のちに議長）として、10年ほどこの会の運営に携わった。この間に得た感想を列挙すると、北海道では小・中・高・高専・大学は広大な大地の中に点在しており、札幌圏を除けば会員相互の交流の機会は常に距離的な制約がついてまわるというハンディを背負っている。また、北海道の小・中・高校は生徒数の少ない小規模校が目立ち、中学や高校の理科教員の多くは複数の科目を担当しなくてはならないため、大学で化学を専攻した教員であっても、化学の他に物理学、生物学や地学を教えることが多い。この様に複数の教科を担当する教員は、化学教育の研究活動だけに打ち込むことは不可能で、多くの教員は、主に毎年開催される小・中・高の理科研究会に参加し、研究成果の発表や交流をしているのが現状である。これらの研究会は理科でまとまった研究会であるため、自分が兼担している物理、生物や地学の研究発表もその会場内で行われており一つの科目に偏らずに参加できるという大きなメリットがある。

化学に関する実践教育・研究発表の場として支部化学教育研究協議会は、上記の理由などから参加者数は40～50名で、参加者数が伸び悩んでいるのが現状であり、多くの分析化学会会員の皆様の一層のご協力とご支援をお願いしたい。

子供達の理科離れは優秀な学生の化学系進学者数の減少を招き、研究レベルの低下と共に化学系企業などに深刻な打撃を与えることは言うまでもない。初等・中等教育を他人任せにするのではなく、大学の教員や企業の研究機関の職員が一丸となって、子供達に化学

がこれからの人類の発展に不可欠であることをしっかりと認識させ、化学は楽しい！、化学はおもしろい！、化学は役に立つ！ということを分析化学会会員が率先して教える努力を惜しまないでいただきたいと考える。

(小樽商科大学商学部化学研究室 片岡正光)

### 1992年北海道地区化学教育研究協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部・日本化学会化学教育委員会・日本化学会北海道支部

**後援** 北海道教育委員会ほか

**日時** 平成4年7月30日(木)

**会場** 北海道大学教養部

**協議主題** 小・中・高・高専・大学における化学教育のあり方について、相互の連携と理解を深める。

**研究発表** 小・中・高・高専・大学での研究実践を10件ほど。

#### 特別講演

日本の科学技術の現状と問題 (読売新聞) 大塚隆一

### 1993年北海道地区化学教育研究協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部・日本化学会化学教育委員会・同北海道支部

**後援** 北海道教育委員会・札幌市教育委員会ほか

**日時** 平成5年7月28日(水)

**会場** 北海道大学教養学部

**協議主題** 小・中・高・高専・大学における化学教育のあり方について、相互の連携と理解を深める。

**研究発表** 小・中・高・高専・大学での研究実践を10件ほど。

**特別講演** (文部省初等中等教育局) 江田 稔

### 1994年北海道地区化学教育研究協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部・日本化学会北海道支部・日本化学会化学教育委員会

**後援** 北海道教育委員会・札幌市教育委員会・北海道高等学校校長会・北海道高等学校理科教育委員会・北海道中学校理科教育研究会・北海道書学校理科研究会

**日時** 平成6年8月3日(水)

**協議主題** 研究発表を通じ、小・中・高・高専・大学における化学教育のあり方について相互の連携と理解を深める。

**研究発表** 小・中・高・高専・大学での研究実践を10件ほど。

### 1995年北海道地区化学教育研究協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部・日本化学会北海道支部・日本化学会化学教育委員会

**後援** 北海道教育委員会・札幌市教育委員会ほか

**日時** 平成7年7月29日(土)

**会場** 北海道大学教養部

**協議主題** 小・中・高・高専・大学における化学教育のあり方について相互の連携と理解を深める。

**研究発表** 小・中・高・高専・大学での研究実践を10

件ほど予定しています。

#### 特別講演

ヨーロッパ諸国における高レベル放射性廃棄物の地層処分の開発研究 (北大工) 佐藤 正知

### 1996年北海道地区化学教育研究協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部・日本化学会化学教育委員会・日本化学会北海道支部

**後援** 北海道教育委員会・札幌市教育委員会ほか

**日時** 平成8年7月27日(土)

**会場** 北海道大学高等教育機能開発総合センター

**協議主題** 小・中・高・高専・大学における化学教育のあり方について相互の連携と理解を深める。

**研究発表** 小・中・高・高専・大学での研究実践を8件ほど予定。

### 1997年北海道地区化学教育研究協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部・日本化学会化学教育委員会・日本化学会北海道支部

**後援** 北海道教育委員会・札幌市教育委員会ほか

**日時** 平成9年7月28日(月)

**会場** 北海道大学高等教育機能開発総合センター

**協議主題** 小・中・高・高専・大学における化学教育のあり方について相互の連携と理解を深める。

**研究発表** 小・中・高・高専・大学での研究実践を6件ほど予定。

#### 特別講演

海洋化学と理科の教科書 (北大院地環) 乗木新一郎

### 1998年北海道地区化学教育研究協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部・日本化学会北海道支部・日本化学会化学教育委員会

**後援** 北海道教育委員会・札幌市教育委員会ほか

**日時** 平成10年7月27日(月)

**会場** 北海道大学高等教育機能開発総合センター

**協議主題** 小・中・高・高専・大学における化学教育のあり方について相互の連携と理解を深める。

**提言・自由討論** 小・中・高・高専・大学での教育実践と課題について。

#### 特別講演

化学はおもしろい! という教材開発 (東大付属高) 佐巻健男

### 1999年北海道地区化学教育協議会

### 2000年北海道地区化学教育協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部・日本化学会北海道支

部・日本化学会化学教育協議会

**後援** 北海道教育委員会・札幌市教育委員会ほか

**日時** 平成12年7月26日(水)

**会場** 北海道大学大学院地球環境科学研究科講堂

**協議主題**

「理科(化学)教育と総合的な学習について考える」

**話題提供**

1. 大地の授業—ものづくりを中心にすえた総合的な学習の時間 (別海町立別海中央小学校) 境 智洋
2. 総合的な学習の時間を考える (札幌市立豊園小学校) 上田 英彦
3. 総合的な学習の時間の実施にあたって (札幌市立東月寒中学校) 河端 良三
4. カイコを使った総合的な学習の授業プラン (札幌東陵高等学校) 西出 雅成
5. ディベート教育について (北大名誉教授) 多賀光彦
6. 多様化する大学入試—北大を例として (北大院理) 喜多村 昇

**特別講演**

日本の化学産業のこれから—科学教育に期待すること  
(日化化学教育協議会) 館 糾

## 2001年北海道地区化学教育協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部・日本化学会北海道支部・日本化学会化学教育協議会

**後援** 北海道教育委員会ほか

**日時** 平成13年7月27日(金)

**会場** 北海道大学大学院地球環境科学研究科

**協議主題** 理科(化学)教育と総合的な学習について考える。

**提言** 小・中・高・高専・大学での研究実践と課題5件ほどを予定。

**自由討論** 討論を通して小・中・高・高専・大学の理科(化学)教育の在り方を総合的な学習を含めて考える。

**特別講演**

海の生き物の知恵に学ぶ—バイオミネラリゼーション(石灰化)をin vitroで (北大地環) 市川和彦

## 2002年北海道地区化学教育協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部・日本化学会北海道支部・日本化学会化学教育協議会

**後援** 北海道教育委員会・札幌市教育委員会・北海道高等学校長協会・北海道小学校理科教育研究会・北海道中学校理科教育研究会・北海道高等学校理科研究会

**日時** 平成14年9月28日(土)

**会場** 北海道大学地球環境科学研究科

**協議主題** 理科(化学)教育における小・中・高・高専・大学の連携について考える。

**講演**

1. 大気の化学と浄化技術 (独立行政法人 産業技術総合研究所) 竹内 浩士
2. 諸外国の初中等教育事情—特に理科教育について (化学教育協議会議長) 細矢治夫

## 2003年北海道地区化学教育協議会

**主催** 日本化学会北海道支部・日本分析化学会北海道支部・日本化学会化学教育協議会

**後援** 北海道教育委員会・札幌市教育委員会・北海道高等学校長協会・北海道小学校理科研究会・北海道中学校理科教育研究会・北海道高等学校理科研究会

**日時** 平成15年9月6日(土)

**会場** 北海道大学大学院地球環境科学研究科

**協議主題** 理科(化学)教育における小・中・高・高専・大学の連携について考える

**講演** 講師 (東大生研) 渡辺 正

講師 (日本化学会副会長・旭化成) 池上 正

**提言** 小・中・高・高専・大学での研究実践と課題に関する提言を5件ほど。

**自由討論** 理科(化学)教育における小・中・高・高専・大学の連携について考える。(1時間程度)

## 2004年北海道地区化学教育協議会

**主催** 日本化学会北海道支部・日本分析化学会北海道支部・日本化学会化学教育協議会

**後援** 北海道教育委員会・札幌市教育委員会・北海道高等学校長協会・北海道小学校理科研究会・北海道中学校理科教育研究会・北海道高等学校理科研究会

**日時** 平成16年10月2日(土)

**協議主題** 理科(化学)教育における小・中・高・高専・大学の連携について考える。

**講演**

化学教育における中等教育と高等教育のギャップ (東大院総合文化) 下井 守

**提言** 小・中・高・高専・大学での研究実践と課題に関する提言を5件ほど。

**自由討論** 理科(化学)教育における小・中・高・高専・大学の連携について考える。

## 2005年北海道地区化学教育協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部・日本化学会北海道支部・日本化学会化学教育協議会北海道支部

**後援** 北海道教育委員会・札幌市教育委員会・北海道高等学校長協会・北海道高等学校理科研究会

**期日** 平成 17 年 11 月 12 日（土）

**会場** 北海道大学大学院地球環境科学研究院

**協議主題** 理科（化学）教育における小・中・高・大学の連携について考える。

**提言** 小・中・高・大学での研究実践と課題に関する提言を 4 件ほど予定。

**自由討論** 理科（化学）教育における小・中・高・大学の連携について考える。

**特別講演**

初等中等理科教育のいまー急がれる軌道修正ー（横浜国立大）伊藤 卓